

山形県鶴岡市
サムライ
ゆかりの
シルク



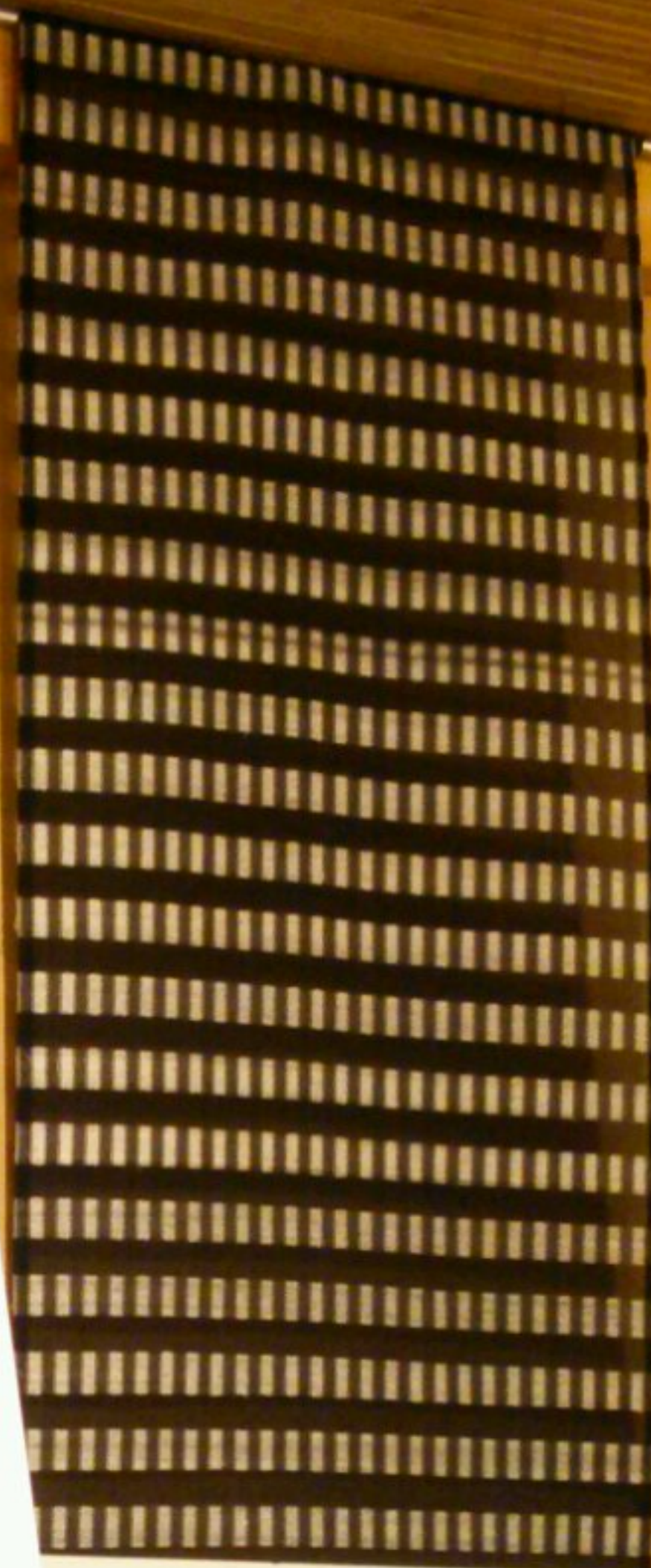
kibiso

日本最北限の絹産地 鶴岡から世界へ

MADE IN JAPAN 絹 SAMURAI SILK

kibiso 世界を舞台に活躍中

- アメリカニューヨーク・タワー・バー・ヒューイット・スミス・デザイン・ミュージアム
- 企業展示場にテキスタイル3点が永久保存されています。
- アメリカセントルイス・セントルイス美術館
- 企業展示場に市地3点が永久保存されています。
- ワシントンDC・デザインミュージアム
- kibiso日本(きびそ生絹織物)「The Wonder Book」掲載
- 鶴岡シルク株式会社「第24回 東北ニュービジネス」掲載(特別賞 受賞)



日本遺産 平成29年4月認定
サムライゆかりのシルク
日本近代化の原風景に
出会うまち 鶴岡へ



日本の近代化を産業革命から牽引した絹産業。旧庄内藩主が刀を懸に袴を穿たれたことが、鶴岡市を中心とする庄内地域が国内最北限の絹産地となったきっかけでした。この地域は、国内の絹産業が勃興したとされる中で、百数十年を経た今もなお、重要な絹産物の製造地として一貫した工芸が甞る国内唯一の地です。



多量生産の足 一足きり

江戸時代、庄内藩は「絹の産地」として、国内の絹産業に貢献しました。その中心地として、鶴岡市が栄えました。その中心地として、鶴岡市が栄えました。その中心地として、鶴岡市が栄えました。

江戸時代、庄内藩は「絹の産地」として、国内の絹産業に貢献しました。その中心地として、鶴岡市が栄えました。その中心地として、鶴岡市が栄えました。その中心地として、鶴岡市が栄えました。

江戸時代、庄内藩は「絹の産地」として、国内の絹産業に貢献しました。その中心地として、鶴岡市が栄えました。その中心地として、鶴岡市が栄えました。その中心地として、鶴岡市が栄えました。



kibiso

tsuruoka silk

鶴岡シルクの一貫生産工程

PROCESS

